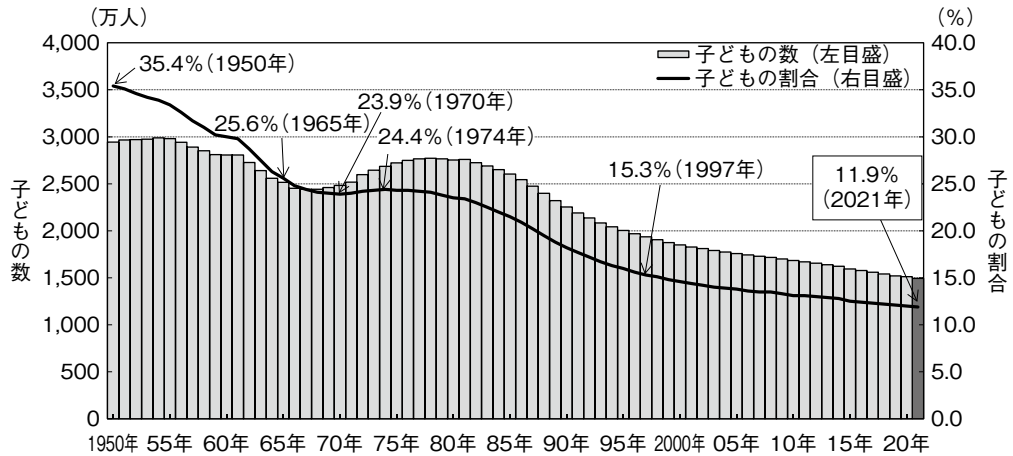


子どもの数および割合の推移



例年、総務省統計局が5月5日の「こどもの日」に因んで発表する統計によると、2021年4月1日現在、子どもの数（15歳未満人口）は1,493万人で40年連続の減少、総人口に占める割合は11.9%で47年連続低下しており、諸外国と比べて最低水準であることが改めて示された。コロナ禍での妊娠控えの影響も指摘されるが、1950年には3割を超えていた総人口に占める子どもの割合が今や1割を切ろうとしている。この春、政府は「こども庁」構想を立ち上げた。若い世代への支援も含め、抜本的な少子化対策が求められる。

「国勢調査」および「人口推計」より